# 「我が国金融業の中長期的な在り方について（現状と展望）」の概要図

平成24年5月28日

## 我が国経済の新たなフェーズ①

- 国内経済社会の構造変化
  - 人口減少を伴う少子高齢化
  - 需要不足・供給過剰、デフレ
  - 地域経済の疲弊
  - 価値観・ライフスタイルの多様化（環境意識の高まりを含む）

## 我が国経済の新たなフェーズ②

- グローバル経済の進展
  - 海外の高成長を取り込む動き
  - 企業の国際展開、個人による海外投資
  - 「投資立国」への歩み

## 金融規制環境の新たなフェーズ

- 国際的な規制強化が進む中、我が国金融システムの相対的安定性
- 商業銀行モデルを再評価する動き

***「金融の役割」***

***①実体経済を支えること***

***②金融自身が成長産業として経済をリードすること***

## 顧客が認める価値を創り出す金融業に向けて

（金融機関）
- リスク変換機能と情報生産機能の発揮
- 顧客目線に立った経営戦略
- 経営基盤の整備・拡充
- 金融人材の育成

（金融資本市場）
- 我が国企業・個人の投資活動の「ベース」
- アジアを中心としたグローバルな資金循環の中核

## 企業向け金融サービス（グローバルな展開）

（外に向かってのグローバル化）
- 我が国金融機関の国際展開の「広がり」と「厚み」（現地化）の向上
  - グローバルネットワークの整備と活用
  - 現地通貨調達、実践的・専門的現地情報収集
- 店舗網、システムネットワークの整備
  - 自前進出／買収
- 人材育成、現地職員の登用

（内なるグローバル化）
- 我が国金融資本市場の魅力向上のための市場インフラ整備の推進（再保険市場・制度の活用を含む）

## 企業向け金融サービス（ローカルな展開）

- ①中小企業の再生・健全化、
  ②地域の面的再生、
  ③新産業の振興や新たな街づくり
  （喫緊の課題）
- リスク・テイクを実行していく態勢の整備
  - リスク変換機能の強化
    - ・・・不動産担保等に依存しない投融資
    - ・・・ファンドの利用
  - 情報生産機能の拡充
    - ・・・「産・学・金＋官」の連携
    - ・・・目利き人材の育成、外部専門家の活用
  - 人材・ノウハウ面、財務面、組織面の変革（統合・再編や連携・提携の推進等）

## 個人向け金融サービス

- 多様化する金融サービス利用者のニーズに的確に応えられるような金融商品の開発・販売態勢を構築することが課題
- 人材育成（プロフェッショナル・レスポンシビリティーの涵養等）、金融商品・サービスの透明性向上
- 機関投資家の資産運用の在り方の見直し
- 商品開発に向けた経営努力
- 独立系の金融仲介業者の育成、中立的な金融アドバイザーの育成、製販分離の在り方の見直し
- 販売チャネルの在り方の見直し

## 金融機能の向上・活性化に向けた官民「共働」の取組み

***企業向けグローバル金融サービス***

（外に向かってのグローバル化）
- 我が国金融機関の国際展開を阻害する国内外の規制・制度の見直し
- 政府系金融機関等との戦略的連携

（内なるグローバル化）
- 我が国金融資本市場の魅力向上のためのインフラ整備
  - アジアでも評価される我が国市場の独自性の模索
    - ・・・例えば、アジアの現地通貨取引

***企業向けローカル金融サービス***
- 金融機関による成長資金供給を阻害する要因の是正
  - ・・・例えば、5％ルール
- 金融機関によるリスク変換機能等の積極的な発揮を促す環境の整備
  - ・・・例えば、ＡＢＬ
- 金融機関による経営基盤の拡充・強化を支援

***個人向け金融サービス***
- 個人向けサービスの充実に向けた人材の強化、金融リテラシー向上、新たな担い手の参入・育成等
- 個人資金の成長資金への転換
  - 機関投資家のリスク変換機能による成長資金供給能力の拡充
  - 新たな資金媒介経路の開拓
    - ・・・例えば、市民ファンドの育成

***官民ラウンドテーブルの活用***
- プリンシプルの共有
- アクションプランの策定